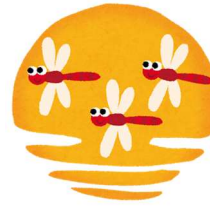


<問い合わせ状況 2021年11月>



● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。11月の疑義照会は7件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認 (2件)
- 1包化希望
- 処方削除忘れ
- その他 (3件)
 - ・前回中止薬が再処方されている→再開
 - ・先発品希望
 - ・アジレクト初処方、セルトラリン服用中



● 薬に関する問い合わせ(患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。
11月はお問い合わせがありませんでした

● 薬に関する問い合わせ(院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。11月は記録したもので7件でした(病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎が ついたものについては回答をDI ニュース No. 442 に記載しています。

- アコファイド[®]はオメプラゾールと併用できるか?
- ◎腎機能低下患者にバンコマイシン散の内服は通常量で大丈夫か?
- ◎アドリアシンを膀胱内注入する際の投与期限などは?
- ◎アドリアシン膀胱注入後の尿の処理はどうすれば良いか?
- ◎イントラリポスとセファゾリンは同時投与可能か?
- ◎アコファイド[®]は食前薬だが、食後服用したらどうなるか?
- アメナリーフ[®]からアシクロビル注への切り替え時注意点があるか?

